

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 29 日

評価対象事業	文観 - 42	体育施設管理運営事業	☐ 法定受託事務
所管課	文化観光部 スポーツ課		評価者 スポーツ課長 徳田 亮祐
一般	会計	款 55 項 25 目 5	
総合計画上の位置付け	分野名	ひとの共創	施策の方針名 スポーツ・レクリエーション

1 事業の目的

対象	市民等	意図	スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うことにより、市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるようにする
効果	スポーツ施設の適切な管理運営を行うことで、より多くの市民等の利用促進に繋がる		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・スポーツ施設運営 ・海浜公園水泳プール運営	・スポーツ施設運営 ・海浜公園水泳プール運営	・スポーツ施設運営 ・海浜公園水泳プール運営
予算額（千円）	234,562	435,609	
国県支出金		57,236	
地方債		11,000	
その他	1,778	159,812	
一般財源	232,784	207,561	0
当初人員配置数	3.9	3.7	0.0
人件費（千円）	15,404	14,306	0
事業実績	・スポーツ施設運営 ・海浜公園水泳プール運営		
決算額（千円）	226,828		
国県支出金			
地方債			
その他	818		
一般財源	226,010	0	0
人員配置実績数	3.7	0.0	0.0
人件費（千円）	13,392	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	スポーツ施設（指定管理施設4施設）でのイベント開催回数	回	47	⇒	54		
	実績につながる活動	指定管理者に各施設でのスポーツイベントの実施を委任している。				97,000		
活2	指標名	スポーツ施設（指定管理施設4施設）で開催したイベントの参加者数	人	2,055	⇒	1,678		
	実績につながる活動	指定管理者に各施設でのスポーツイベントの実施を委任している。				同上		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	令和6年度は各施設の登録団体に発表の機会を提供するなど特別な事業を実施したことから、団体関係者が多く参加した。このため、令和7年度と比較してイベントの参加者数が増えているが、その特殊要因を除くと、令和7年度の参加者数は増加しており、魅力的なイベントを実施できたものと捉えている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	スポーツ施設（指定管理施設4施設）の利用者数	人	277,646	↗	279,033			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	適切なタイミングに魅力的なイベントを開催したことによって、スポーツに馴染みがない方に対してもスポーツに親しむ機会を創出し、日常的な施設利用に繋げることができた。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	指定管理者の安定的な管理運営と魅力的なイベント開催がスポーツ施設の利用者数の増加に寄与している。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	■ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
	公平性	受益者負担	■ 導入済	□ 導入予定	□ 導入できない
方向性	評価実施年度の方向性		⇒	評価実施翌年度以降の方向性	
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り □ 事業内容は見直し済 □ 事業を休止又は廃止済 □ 他事業と統合済	⇒	■ ① 事業内容は現状通りとする □ ② 事業内容は見直す → □ 拡大 □ 縮小 □ その他 □ ③ 事業は休止又は廃止する □ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持 □ 予算規模は拡大済 □ 予算規模を縮小済	⇒	■ ① 予算規模は現状維持とする □ ② 予算規模は拡大する □ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	指定管理施設でのイベント開催や情報発信により、運動に興味はあるものの、体育施設の使用にまでは至らなかった層を一定数取り込むことができたと分析しており、スポーツ施設の利用者数の増加に寄与していると捉えている。今後も、必要な施設整備をしながら、魅力あるスポーツイベント等を実施し、施設の適切な管理運営を行っていく。			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項		近隣各市のスポーツ施設数（上段：屋内施設 下段：屋外施設）							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	4	3	3	2	2			1	
	2	12	5	11	9			3	
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		他市と比較して屋外施設数が少ないことから、企業や私立学校のグラウンド開放などの可能性について検討を進める。							